

## 第3回 国道121号日光地区防災検討会 議事概要

### 1. 日時

平成31年3月6日(水) 9:30~11:00

### 2. 場所

栃木県庁 6階 大会議室1

### 3. 出席者(委員)

◎中島 章典 宇都宮大学 地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 教授  
清木 隆文 宇都宮大学 地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 准教授  
日下 敦 土木研究所 道路技術研究グループ トンネルチーム 上席研究員  
砂金 伸治 首都大学東京 都市環境学部 都市基盤環境学科 教授  
上原 重賢 国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所長  
益子 崇 栃木県 県土整備部 交通政策課長  
竹中 弘幸 栃木県 県土整備部 参事兼日光土木事務所長

◎は座長

### 4. 議事

- (1) 地元説明会の開催結果について
- (2) ルート・構造の検討結果について
- (3) 技術的課題への対応策の検討結果について
- (4) その他

### 5. 議事概要

- ・ 平成31年2月20日(水)に開催した地元説明会の開催結果を栃木県より報告した。
- ・ 平面線形及び縦断線形の考え方を踏まえて検討した、既存の「三ッ岩橋」、「三ッ岩トンネル」及び「川治第一トンネル」を有効活用し、既設の野岩鉄道のトンネルや導水トンネル、防災上の課題箇所等を極力回避したルート・構造を栃木県が報告した。
- ・ 技術的課題である「近接施工による既設トンネルへの影響」、「湧水によるダム水位への影響及びトンネル施工への影響」への対応策(案)を宇都宮国道事務所が報告し、過去の施工実績や解析結果等を踏まえ、想定される補助工法及びモニタリング手法を確認した。
- ・ 今後、現地での地質調査結果を踏まえ、詳細な補助工法及びモニタリング手法の検討を行うことが必要であり、補助工法や施工管理において、高度な技術を活用することにより事業実施が可能となることを確認した。
- ・ 新設2号トンネルは、交差する葛老山トンネル(野岩鉄道)において、掘削にともない許容応力以上の応力変化が生じる恐れがあるとの解析結果を踏まえ、葛老山トンネル(野岩鉄道)に影響を及ぼさないようにより慎重な補助工法の施工及びモニタリングが必要であり、より施工期間も要するものと想定されることを確認した。
- ・ 国道121号の藤原地区・川治地区における防災事業の必要性・妥当性を確認した。

以 上